資料３

令和8年度　第1回鹿島市水道事業審議会　令和８年１０月２７日（火）

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要について

（目次）

■業務量
（1）配給水状況　P.1
■収益的・資本的収支の状況　P.2
■収益的収支の特徴
（1）収支の比較　P.3
（2）収入の内訳　P.4
（3）支出の内訳　P.5
（4）当年度純利益　P.6
（5）給水単価・給水原価　P.6
■資本的収支の特徴
（1）収支の比較　P.7
（2）収入の内訳　P.8
（3）支出の内訳　P.8
（4）収入額が支出額に不足する額　P.9
■経営指標　P.10
■管路更新の進捗状況　P.12
■今後の課題　P.13

鹿島市水道課

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 業務量

（１）配給水状況

決算書P20参照

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
年度末給水人口（人）	23,592	23,888	△296
年度末給水戸数（戸）	9,737	9,714	23
年間配水量（㎥）	2,989,694	2,961,794	27,900
年間有収水量（㎥）※	2,163,126	2,207,397	△44,271
有収率（%）※	72.4	74.5	△2.1

※「有収水量」とは漏水などを除き、料金収入になった水道水を意味する。

※有収率＝年間有収水量÷年間配水量

（供給した水量のうち、料金が徴収できた水量の割合を示す指標で、水道事業の効率性を表す。）

・給水人口、年間有収水量は減少傾向にある。

・有収率が低下しているということは、漏水が増加していると考えられる。

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

※収益的収入・・日常的な事業運営から得られる収入。主に水道料金収入（給水収益）や一般会計からの補助金など。
※収益的支出・・日常的な事業運営で発生する支出。人件費や施設の維持管理費、水道検針に係るメーター交換や検針員の委託料など。

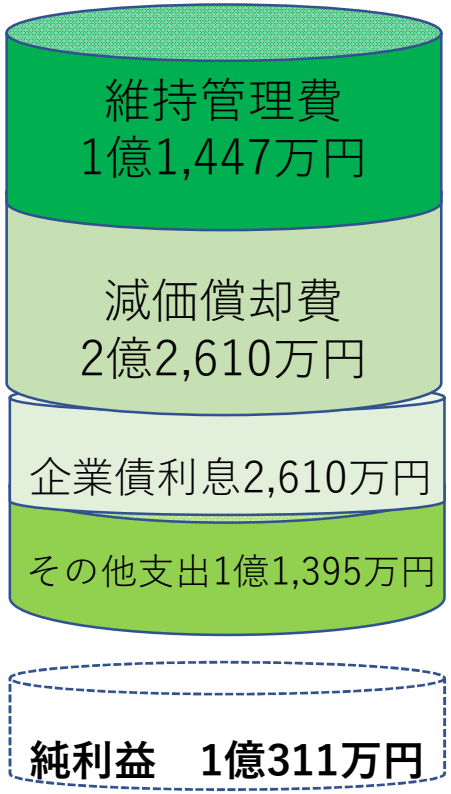
※資本的収入・・設備投資など長期的な事業の財源となる借入金などの収入。

※資本的支出・・水道管の更新や耐震化、機械設備の更新などにかかる支出。

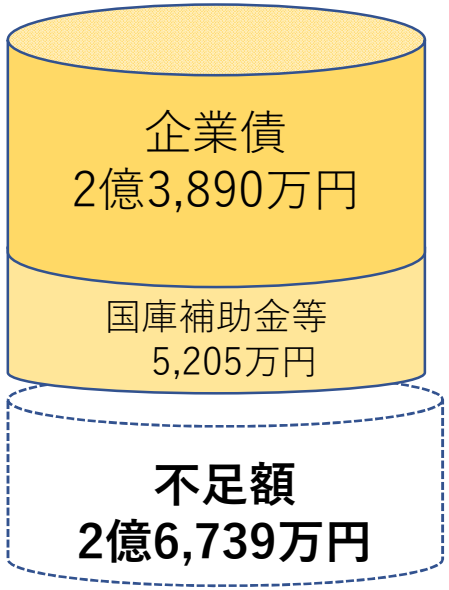
収益的収入（税抜）
5億8,373万円



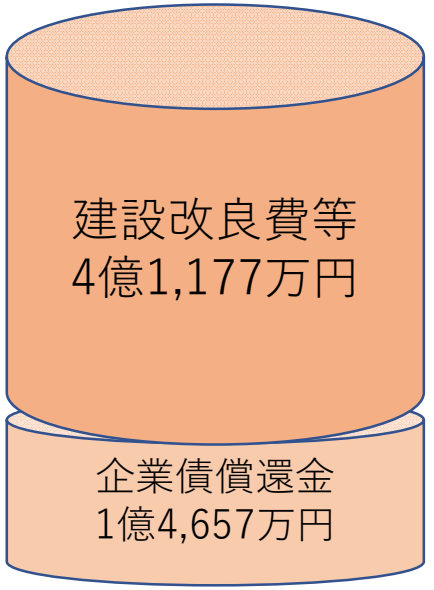
収益的支出（税抜）
4 億8,062万円



資本的収入（税込）
2億9,095万円



資本的支出（税込）
5億5,834万円



純利益の1億311万円は積み立てて、内部留保資金となり、不足額の補填財源として使用します。

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 収益的収支の特徴

決算書P5・P27～31参照

（１）収支の比較

（税抜：千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
収益的収入※	583,731	566,301	17,430
収益的支出※	480,622	438,067	42,555

※収益的収入・・日常的な事業運営から得られる収入であり、主に水道料金収入（給水収益）や一般会計からの補助金などがある。
※収益的支出・・日常的な事業運営で発生する支出であり、人件費や施設の維持管理費、水道検針に係るメーター交換や検針員の委託料などがある。

●主な要因

【収入増】
・料金改定による給水収益の増（R8.4～７月調定分の増）
・中木庭ダム負担金、物価高騰対策基本料金減免事業に伴う一般会計繰入金の増

【支出増】
・委託料や修繕費の増

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 収益的収支の特徴

決算書P5・P27～31参照

（2）収入の内訳

（税抜：千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
給水収益（水道料金収入）	498,341	493,669	4,672
他会計負担金	15,625	15,345	280
その他営業収益（手数料など）	5,293	5,651	△358
他会計補助金	15,640	2,607	13,033
長期前受金戻入※	42,142	44,573	△2,431
その他営業外収益（雑収益など）	6,690	4,456	2,234

※長期前受金戻入・・・固定資産を取得した際の財源となった補助金を、その資産の耐用年数の期間に振り分けて収益化したもの（会計上の処理で現金収入はない）

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 収益的収支の特徴

決算書P5・P27～31参照

（３）支出の内訳

（税抜：千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
委託料	68,744	37,952	30,792
目毎内訳	（原水及び浄水費：23,426） （配水及び給水費：24,899） （総係費：20,419）	（原水及び浄水費：9,500） （配水及び給水費：16,112） （総係費：12,340）	（原水及び浄水費：13,926） （配水及び給水費：8,787） （総係費：8,079）
動力費	45,728	45,182	546
負担金（ダム）	6,842	3,550	3,292
減価償却費※	226,102	212,629	13,473
固定資産除却費※	3,139	14,982	△11,843
支払利息	26,101	22,825	3,276
その他の支出	103,966	100,947	3,019

※減価償却費・・・固定資産を取得した際の費用を、その資産の耐用年数の期間に振り分けて費用化したもの
※固定資産除却費・・・布設替後の管や廃止した施設などを帳簿上から除却する費用
（上記のどちらも帳簿上の処理で原則現金支出はない）

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 収益的収支の特徴

決算書P5・P20～21参照

（4）当年度純利益

（千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
当年度純利益	103,109	128,234	△25,125

・純利益は減債積立金に73,109千円、建設改良積立金に30,000千円積み立てる。

（5）給水単価・給水原価

（円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
供給単価※	230.38	223.64	6.74
給水原価※	202.71	178.26	24.45

※供給単価：1㎥あたりの売値（給水収益÷年間有収水量）

※給水原価：1㎥の水を作るのにかかる費用｛（経常費用－受託工事費－長期前受金戻入）｝÷年間有収水量

・供給単価は、給水収益の増加、有収水量の減少により増加した。
・給水原価は、経常費用の増加により増加した。

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 資本的収支の特徴

決算書P3～４・P32～34参照

（１）収支の比較

（税込：千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
資本的収入	290,950	373,823	△82,873
資本的支出	558,335	607,574	△49,239

※資本的収入・・設備投資など長期的な事業の財源となる借入金などの収入。
※資本的支出・・水道管の更新や耐震化、機械設備の更新などにかかる支出。

●主な要因

【収入減】
・建設改良費（工事費）の減による企業債（借入金）の減

【支出減】
・建設改良費（工事費）の減

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 資本的収支の特徴

決算書P3～４ ・P32～34・P43～44参照

（２）収入の内訳

（税込：千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
他会計負担金	6,622	3,260	3,362
企業債	238,900	366,300	△127,400
国庫補助金	43,628	0	43,628
その他	1,800	4,263	△2,463

（３）支出の内訳

（税込：千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
建設改良費	411,770	463,538	△51,768
企業債償還金	146,565	144,036	2,529

※久保山配水本管更新工事（132,000千円）は令和8年度に繰越しました。

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 資本的収支の特徴

決算書P3～４・P24参照

（４）収入額が支出額に不足する額

（千円）

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
収支不足額	267,385	233,751	33,634

※資本的収支の不足額は、内部留保資金により補填する。

【令和７年度補填財源（内部留保資金）の内訳】

①当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額　**31,260千円**

（資本的支出に係る仮払消費税　－　資本的収入に係る仮受消費税）

②当年度分損益勘定留保資金　　**187,098千円**

（減価償却費・固定資産除却費　－　長期前受金戻入）

③減債積立金　　**49,027千円**（企業債の償還のために純利益を積み立てたもの）

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 経営指標

決算書P13～15参照

事項	令和７年度	令和６年度	比較（R7-R6）
①経常収支比率	121.45%	129.27%	△7.82
②料金回収率	113.65%	125.46%	△11.81
③有形固定資産減価償却率	61.13%	60.52%	0.61
④管路経年化率	9.07%	8.87%	0.2
⑤管路更新率	0.34%	0.90%	△0.56

①経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているか示すもので、100%以上である場合は、経常利益が生じていることを意味する。

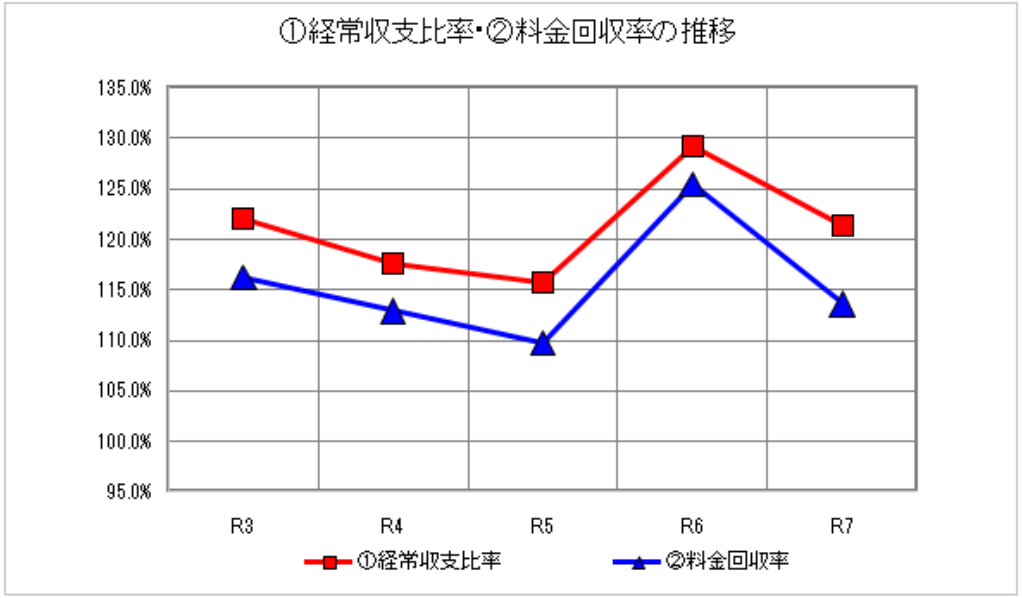
②料金回収率は、事業に必要な費用を給水収益で賄えているかを表すもので、100%を超えているほどよい。

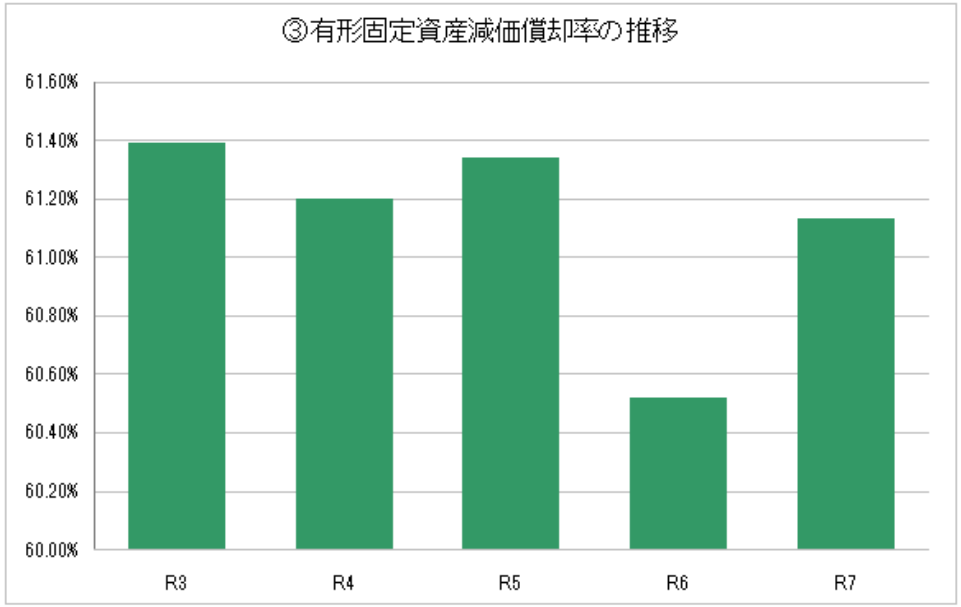
③有形固定資産減価償却率は、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表すもので、資産の老朽化度合いを示している。一般的に数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができる。

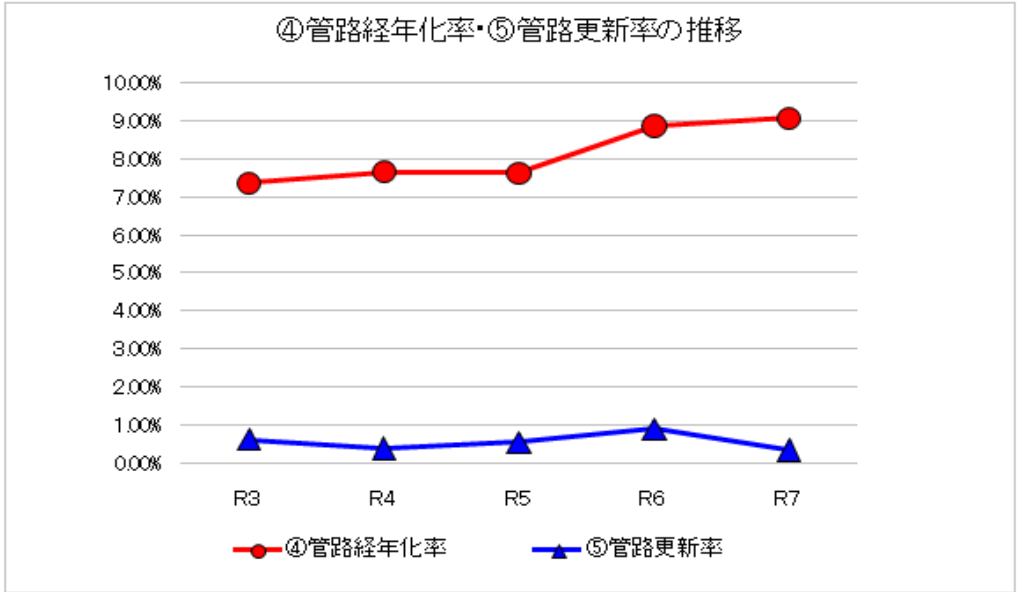
④管路経年化率は、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を表す。

⑤管路更新率は、当該年度に更新した管路延長の割合を示す。

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要







①経常収支比率（％）＝経常収益／経常費用×100

②料金回収率（％）＝供給単価／給水原価×100

③有形固定資産減価償却率（％）

＝有形固定資産減価償却累計額／償却対象資産×100

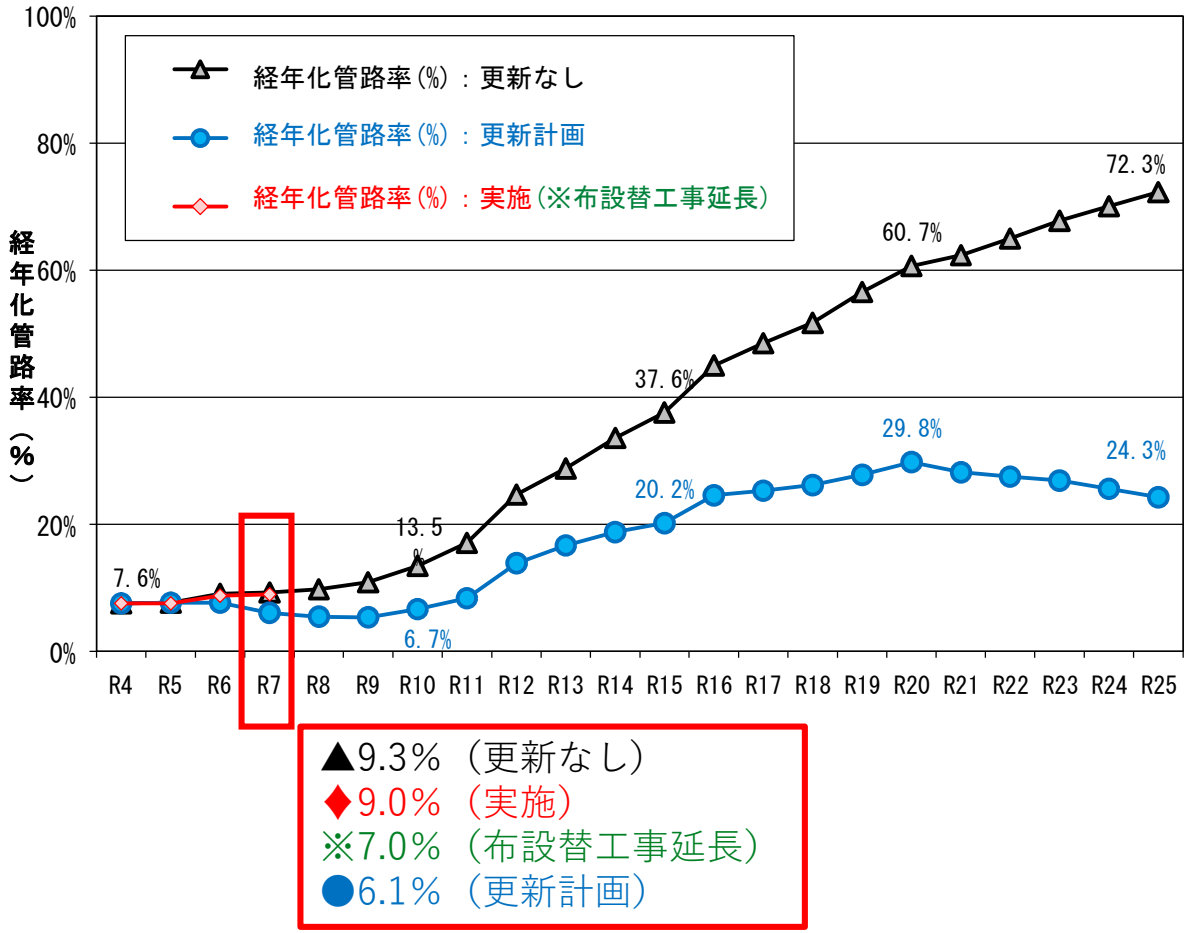
④管路経年化率（％）＝法定耐用年数を超過した管路延長／管路延長×100

⑤管路更新率（％）＝当該年度に更新した管路延長／管路延長×100

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 管路更新の進捗状況

経年化管路率の推移



令和７年度　布設替工事 延長内訳

R7	管路布設替延長（m）		
	配水管延長	導送水管延長	延長 計
布設替	774.60	0.00	774.60
	内訳　老朽管		677.20
	漏水対応		0.00
	他事業		97.40
工事済み未供用分	769.80	1,220.50	1,990.30
合計	1,544.40	1,220.50	2,764.90

基幹管路耐震化率

	R3	R4	R5	R6※	R7※
耐震化率	2.2%	5.2%	18.7%	24.4%	24.6%
布設替延長	1,535.0m	988.5m	1,411.9m	3,390.3m	2,764.9m

※R5策定の更新計画により、R6から耐震適合管含む。
（R5まで耐震管のみ）

令和７年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 今後の課題

✓ 有収率が「中長期財政計画」の目標値79.3％を大きく下回っている。今後も漏水調査を実施し、早期の修繕や更新に努めて有収率の向上を目指す。

✓ 給水人口、使用水量の減少傾向は続いており、今後も収益の大幅な増加は見込めない。

また、建設改良費も物価高騰の影響を受けて費用の増加が見込まれる中、「第2次中長期財政計画」をもとに経常経費等の見直しや企業債残高の基準（借入金の適正な割合）、料金見直しなど収支のバランスを考えた事業運営に努める。